

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ（こども） Career Seminar II				ナンバリング No.	K4-018	
年次	2年	期別	後期	2年	1	授業形態	演習
担当者氏名	クラス担任(川田 将人・岡泉 志のぶ)・他こどもフィールド専任教員						
連絡方法	各担任研究室及びC-Learningで対応。						
必修/選択	選択						
関連DP	DP1, DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>本授業では、社会人になってから役立つ基礎的知識や態度を身につけ、社会で活躍する際に必要な即応力やコミュニケーション能力などの資質向上を目指す。</p> <p>①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。</p> <p>②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。</p> <p>③自分がどのような職業に興味があり、向いているのか、その適性を考え、言語化できるようにする。</p> <p>④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えるようにする。</p> <p>⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	ディスカッション等、能動的な学習方法を取り入れる。グループワークでは仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・ディスカッションも行う。						
学習成果	L01	自分の適性を考え、職業生活を設計し、就職活動ができる。 職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。					
	L02	職業人としてふさわしい価値観や態度を他者に示せる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	課題はクラス毎に返却する。返却時期はクラス担任から説明する。						
教科書/参考図書	参考資料は適宜指示、配布等をする。						
履修上の留意点やルール等	積極的に参加し、自己実現に向けて授業に臨むこと。マナーを守り、課題を必ず提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	体的かつ協調的に参加している。不参加は減点の対象とする。	20	20		
レポート/作品	外部講師の感想文を書く。的確な内容把握と自己評価を行い、完成度の高いレポート及びワークシートが作成されること。	30			
発表	プレゼンテーションで、大切な点を抑えている。他者と協働して課題をこなしている。詳細は講義で示す。		30		
小テスト					
試験					
その他					
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション 授業概要と評価に関する説明 (全体 45 分: クラス指導 45 分)
	事前・事後学習	後期のキャリアに関してなすべきことを整理する。履修登録確認。
2	授業内容	コミュニケーションワーク
	事前・事後学習	コミュニケーションワークを通して得たことをレポートにまとめる。
3	授業内容	外部講師の講話 現場で活躍する先輩保育者の講話 (全体 90 分) 【課題: 感想文】
	事前・事後学習	課題を行う。【課題 1】
4	授業内容	保育士申請について
	事前・事後学習	申請書類を作る。
5	授業内容	幼稚園教諭二種免許状申請について
	事前・事後学習	申請書類を作る。
6	授業内容	保育実習Ⅱ・Ⅲのフィードバック(巡回担当)
	事前・事後学習	実習評価と、自分の認識との調整を図る。PDCAをノートにまとめる。
7	授業内容	プレゼンテーションの方法 (川田)
	事前・事後学習	プレゼンテーション方法の要点を整理し、準備をする。
8	授業内容	プレゼンテーション① グループワーク
	事前・事後学習	他者から良い点を学び、プレゼンテーションの準備をする。
9	授業内容	プレゼンテーション② グループワーク
	事前・事後学習	他者から良い点を学び、プレゼンテーションの準備をする。
10	授業内容	プレゼンテーション③ 実践
	事前・事後学習	プレゼンテーションの実践を通して、他者との比較から改善点をレポートする。
11	授業内容	保育実習Ⅰのフィードバック(巡回担当)と実習経験の比較
	事前・事後学習	これまでの実習評価を振り返り、ワークシートにまとめる【課題 2】
12	授業内容	行事をつくる① 自己の特性を活かした活動
	事前・事後学習	卒園・卒業を意識した行事についてディスカッションし、合意形成をする。
13	授業内容	行事をつくる② グループワーク
	事前・事後学習	行事に向けた準備を行う。
14	授業内容	地域支援事業に向けて
	事前・事後学習	地域支援事業について考え準備する。
15	授業内容	卒園・卒業を意識した行事
	事前・事後学習	行事について振り返りを行う。

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ(介護福祉士) Career Seminar II				ナンバリング No.	Z4-001	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2, DP4, DP6						
授業の概要と到達目標	介護福祉士の資格を取得し社会人となるための基礎的知識や態度を身につける。 ①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観、役割、責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③介護福祉士に必要な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。						
授業の方法	国家試験に向けての準備を中心に、模擬試験や個人ワークまたはグループワークを通して学習支援を行っていく。さらに、卒業研究を兼ねた事例研究のまとめも行う。実習で展開した介護過程を振り返り、教員との個別指導を繰り返す中で事例研究の形にまとめていく。						
学習成果	L01	自分の職業生活を設計できる。					
	L02	①自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 ②職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	模擬試験後は個人成績を各自に返却する。特に、第2・3回模擬試験(全国統一模擬試験)については、全国順位、合格ランク、科目ごとの得点、各問題の正答率等の成績も開示し、苦手科目および学習のポイントをフィードバックする。事例研究に関しては、学生に論文提出を課し、提出されたものは添削後、学生に個別指導しながら返却する。						
教科書/参考図書	佐野日本大学短期大学 進路支援資料集 国家試験に関する模擬問題集やワークブック、各授業のテキスト・参考書・配布資料等						
履修上の留意点やルール等	●進路の実現に向けて、キャリアセンターを活用しながら、積極的に行動すること。●国家試験に関する内容は、試験センターからの通知を含め、随時説明する。重要書類が多いため、保管や紛失に十分注意すること。●第2・3回模擬試験にあたる全国統一模擬試験の費用は自己負担となる。支払方法等は授業にて説明する。●教材以外のものは机上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③授業以外も活用し、自主的かつ積極的に取り組んでいる。	50			
レポート/作品	模擬問題を解き、不正解だった問題は解説集を読み込み、ノート等に書き写す。S 評価は、①指定された科目の問題を解いている。②要点をおさえてまとめられている。③関連事項を調べている。		30		
発表					
小テスト					
試験					
その他	模擬試験 3 回分の平均点が 90 点以上の場合、S 評価とする。		20		
<b>合計</b>		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション / 履修指導 国家試験に向けた学習支援① 模擬問題の実施【レポート 模擬問題の解答・解説】
	事前・事後学習	自分自身の履修状況を確認し、単位の不足がないように履修計画を見直す。 模擬問題集の指定ページを解き、自己採点する。不正解の問題は解説集を転記する。
2	授業内容	国家試験に向けた学習支援② 模擬問題の実施
	事前・事後学習	繰り返し模擬問題や過去問題を解く。解答後は正誤の確認と根拠等をテキストで調べ、ノートにまとめる。
3	授業内容	事例研究のまとめ① 文献検索
	事前・事後学習	自分の事例に関連する文献を3つ以上検索し、簡単な内容と本や論文等の情報(論文名、著者名、出版社、巻、号、ページ、出版年)を記載したメモを作成する。
4	授業内容	事例研究のまとめ② 文章作成(事例紹介～実施・評価)
	事前・事後学習	事例紹介～実施・評価までWordで文章作成する。
5	授業内容	国家試験に向けた学習支援③ 全国統一模擬試験に向けた学習
	事前・事後学習	模擬問題で不正解だった問題や苦手な科目を中心に、問題や選択肢の言葉を説明できるよう関連事項を調べ、ノートにまとめる。
6	授業内容	国家試験に向けた学習支援④ 第2回模擬試験(全国統一模擬試験) 午前問題
	事前・事後学習	受験ワークブックを繰り返し読む。模擬問題や過去問題を解く。 試験後は不正解だった問題を見直し、関連事項を調べ、ノートにまとめる。
7	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑤ 第2回模擬試験(全国統一模擬試験) 午後問題
	事前・事後学習	受験ワークブックを繰り返し読む。模擬問題や過去問題を解く。 試験後は不正解だった問題を見直し、関連事項を調べ、ノートにまとめる。
8	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑥ 学力評価試験 午前問題
	事前・事後学習	受験ワークブックを繰り返し読む。模擬問題やこれまでの模擬試験、過去問題を解く。 試験後は不正解だった問題を見直し、関連事項を調べ、ノートにまとめる。
9	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑦ 学力評価試験 午後問題
	事前・事後学習	受験ワークブックを繰り返し読む。模擬問題やこれまでの模擬試験、過去問題を解く。 試験後は不正解だった問題を見直し、関連事項を調べ、ノートにまとめる。
10	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑧ 第3回模擬試験(全国統一模擬試験) 午前問題
	事前・事後学習	受験ワークブックを繰り返し読む。模擬問題やこれまでの模擬試験、過去問題を解く。 試験後は不正解だった問題を見直し、関連事項を調べ、ノートにまとめる。
11	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑨ 第3回模擬試験(全国統一模擬試験) 午後問題
	事前・事後学習	受験ワークブックを繰り返し読む。模擬問題やこれまでの模擬試験、過去問題を解く。 試験後は不正解だった問題を見直し、関連事項を調べ、ノートにまとめる。
12	授業内容	事例研究のまとめ③ 原稿作成・発表準備
	事前・事後学習	発表に向けてパワーポイントと発表原稿を作成する。
13	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑩ 第4回模擬試験(学内模擬試験) 午前問題
	事前・事後学習	受験ワークブックを繰り返し読む。模擬問題やこれまでの模擬試験、過去問題を解く。 試験後は不正解だった問題を見直し、関連事項を調べ、ノートにまとめる。
14	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑪ 第4回模擬試験(学内模擬試験) 午後問題
	事前・事後学習	受験ワークブックを繰り返し読む。模擬問題やこれまでの模擬試験、過去問題を解く。 試験後は不正解だった問題を見直し、関連事項を調べ、ノートにまとめる。
15	授業内容	まとめ / 国家試験に関する説明
	事前・事後学習	国家試験に向けて、持ち物、試験会場、交通手段、所要時間等、チェックリストに沿って確認。チェックリストの項目にチェックを入れる、または内容を記入する。

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ（医療事務）（卒業論文） Career Seminar II			ナンバリング No.	Z4-001		
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	戸井田 睦美・宇賀神 敦子						
連絡方法	C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>就職し社会人となってから役立つ基本的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識・技術や望ましい態度等を学ぶ。</p> <p>①就職し社会人となってから役立つ基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。</p> <p>②医療事務としての役割と必要性について理解し、行動できるようにする。</p> <p>③専門職として職場でのコミュニケーション能力を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現することを心掛けるようにしてほしい。						
学習成果	L01						
	L02	職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。					
	L03	就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	小テストは試験後に模範解答を示し、試験結果は授業内にフィードバックする。レポートは個別に総評を伝える。						
教科書/ 参考図書	診療報酬早見表（医学通信社）、医療現場での接遇マナー（ニチイ学館）						
履修上の留意点 やルール等	●グループワーク等に積極的に参加し、課題を必ず提出すること。●卒業製作費（3300円程度） ●事前・事後学習に費やす時間は各回45分とする。						
担当教員の実務 経験	●実務経験（職種：病院事務、職歴：通算8年）病院事務としての経験を、患者対応等及び職場でのコミュニケーションの指導に活かす。						

成績評価の方法と基準						
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				
		L01	L02	L03	L04	
授業参加態度	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。グループワークに積極的に取り組み、貢献、努力している。		40			
レポート/作品	卒業論文を期日内に提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめであり、自身の考えを述べている。			20		
発表						
小テスト	3回の小テストを行い、理解度を測る。			30		
試験						
その他	卒業制作課題を期日内に提出している。		10			
合計			50	50		

回数		授業計画	
1	授業内容	オリエンテーション、医療事務の役割と必要性	(戸井田)
	事前・事後学習	医療事務の役割と必要性を調べておくこと。	
2	授業内容	医療機関の組織	(戸井田)
	事前・事後学習	どのような組織があるのかを調べておくこと。	
3	授業内容	医療機関の課題【レポート1 医療事務の役割と必要性について】	(戸井田)
	事前・事後学習	どのような課題があるか調べておくこと。	
4	授業内容	ビジネスマナー (1) [ことば使いと社内のマナー]	(戸井田)
	事前・事後学習	課題の復習をすること。	
5	授業内容	ビジネスマナー (2) [電話のマナー] 小テスト①	(戸井田)
	事前・事後学習	課題の復習をすること。	
6	授業内容	ビジネスマナー (3) [接客・来客対応のマナー] 小テスト②	(戸井田)
	事前・事後学習	課題の復習をすること。	
7	授業内容	ビジネスマナー(4) [冠婚葬祭のマナー]③	(戸井田)
	事前・事後学習	課題の復習をすること。	
8	授業内容	院内掲示のためのPOP(1)	(宇賀神)
	事前・事後学習	課題の復習をすること。	
9	授業内容	院内掲示のためのPOP(2)	(宇賀神)
	事前・事後学習	課題の復習をすること	
10	授業内容	院内掲示のためのPOP(3)	(宇賀神)
	事前・事後学習	課題の復習をすること。	
11	授業内容	卒業論文 I	(戸井田)
	事前・事後学習	自分の意見をまとめること。	
12	授業内容	卒業論文 II	(戸井田)
	事前・事後学習	自分の意見をまとめること。	
13	授業内容	卒業制作 I	(戸井田)
	事前・事後学習	自分の意見をまとめること。	
14	授業内容	卒業制作 II	(戸井田)
	事前・事後学習	自分の意見をまとめること。	
15	授業内容	まとめ 卒業制作提出	(戸井田)
	事前・事後学習	自分の意見をまとめること。	

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ(英語)卒業研究 Career Practicum I (English)				ナンバリング No.	Z4-001	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	堤 裕美子						
連絡先(質問等)	C-Learning にて対応						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>就職 社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識・技術・望ましい態度等を学習する。</p> <p>①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。                  ②職業に関わる価値観・役割・責任を学習し、心構えを作れるようにする。                  ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。                  ④相手の伝えたいことを察し、相手を感じかみながら自分の思いを伝えられるようにする。                  ⑤就職 社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、キャリア・アップに精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02	①自分の職業生活を設計できる。 ②自己の職業への適性を自覚し、必要な能力を高めることができる。 ③職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 ④就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、メール等で個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	『大学生のためのキャリアガイドブック』(北大路書房、既購入)及び担当教員自作のパワーポイント						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回 45 分、本学の教育理念(想人、考える人、行い人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の3点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。		10		
レポート/作品	Sのレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。 レポート最新課題は、月1 回計3 回提出予定(締切は各月末)。		50		
発表	Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。		20		
小テスト	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59		20		

試験				
その他				
合計			100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題の説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画を立てる(個別学習支援・ワーク)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する① 業界について。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する② 職種について。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する③ 会社の沿革と経営理念。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画について発表(個別学習支援・ワーク)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する④ 就職活動の流れ。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える① (個別学習支援・グループワーク)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える② 発表。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑤ 就職活動に必要な準備。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑥ 後輩へのアドバイス。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表① グループ A。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表② グループ B。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。

佐野日本大学短期大学 2026（令和8）年度シラバス

14	<b>授業内容</b>	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、学生生活の目標と計画の振り返り、発表。
	<b>事前・事後学習</b>	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	<b>授業内容</b>	進路個別面談、進路活動報告のまとめ、キャリア教育で学んだことについてのまとめ。
	<b>事前・事後学習</b>	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ（観光） Career Seminar II				ナンバリング No.	Z4-001	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	伊藤 優子						
連絡方法	C-Learning または研究室(2階) に対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP3						
授業の概要と 到達目標	<p>就職し社会人となってから役立つ基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くため必要となる技術や心構えを学ぶ。</p> <p>①自分が進むべき社会での課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業にかかわる価値観・役割・責任を理解し、心構えを身につけるようにする。 ③相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えられるようにする。 ④社会人になってから役立つような基礎的知識やマナーを身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	個別ワークやグループワーク、アクティブラーニングを実施する。グループワークでは学生同士で積極的ににかかわりながら、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを学ぶことができるようにする。自己を振り返る機会を得て、文章で表現することを身につける。						
学習成果	L01	自分の社会人生活を設計できる。 就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
	L02	自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	個別面接を繰り返し行い、就職活動に関する意見交換や問題解決のフィードバックを行う。						
教科書/ 参考図書	適宜、授業内で配布する。						
履修上の留意点 やルール等	1/3 以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定をしない。 遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業内での無断退出禁止。 事前事後に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決しようと試みている。与えられたテーマについて学生同士の意見をよく聞き、自分の考えを述べるようにする。積極的に取り組み、努力をしている。	10	10		
レポート/作品	進路活動報告、就職活動した企業について報告書を作成することと日帰りツアー企画案を提出すること。	30	30		
発表	就職活動進捗状況報告と日帰りツアー企画をパワーポイントで行う。	10	10		
小テスト					
試験					
その他					
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画を立てる(個別学習支援・ワーク)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する① 業界について考える。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する② 職種について考える。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する③ 会社の沿革と経営理念について考える。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、今後の学生生活の目標と計画について発表(個別学習支援・ワーク)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、各自の進路活動について発表用資料を作成する④ 就職活動の流れを把握する。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、社会人としての心構えについて考える① (個別学習支援・グループワーク)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、社会人としての心構えについて考える② 発表
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、日帰りツアーの人気コースの分析。
	事前・事後学習	進路についてノートの事後整理と日帰り人気ツアーについて説明できるようにする。
11	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、日帰りツアーの企画・立案。
	事前・事後学習	進路についてノートの整理と日帰りツアーの企画案について説明できるようにする。
12	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、日帰りツアーの行程案検討。
	事前・事後学習	進路についてノートの整理と日帰りツアーのこう提案を説明できるようにする。
13	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、日帰りツアーの企画案発表。
	事前・事後学習	進路についてノートの整理と日帰りツアーのポイントを説明できるようにする。
14	授業内容	進路面談、進路活動報告、日帰りツアーの見積書作成、実践への準備。
	事前・事後学習	進路についてノート整理と見積書、実践のための準備をできるようにする。
15	授業内容	進路個別面談、進路活動報告のまとめ、日帰りツアーの実践。
	事前・事後学習	最終進路と日帰りツアーを実施することを説明できるようにする。

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ（社会福祉士） Career Seminar II				ナンバリング No.	Z4-001	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択（社会福祉士養成課程は受講することが望ましい）						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	<p>就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識・技術や望ましい態度等を学ぶ。</p> <p>福祉の専門職として必要な、研究に対する基礎知識及び、技術を養う。</p> <p>①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力することができる。</p> <p>②職業に関わる価値観、役割や責任を理解し、説明できる。</p> <p>③相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えることができる。</p> <p>④就職し社会人となってから役立つ基礎的知識や態度を身につけることができる。</p> <p>⑤研究論文の様式にそった、社会福祉研究ノートを作成することができる。</p>						
授業の方法	個別ワークやグループワーク、アクティブ・ラーニングを実施する。グループワークでは教員やメンバーと積極的に関わり、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章表現できるよう心掛けて欲しい。						
学習成果	L01	幅広い専門性を元に、専門職としての基本的態度を修得することができる。					
	L02	職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	就職活動ともなう履歴書、各種書類、面接練習は随時行う。						
教科書/参考図書	令和7年度 佐野日本大学短期大学 進路支援資料集『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房）、その他必要に応じて適宜資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	進路の実現に向けて学生支援課を活用しながら、積極的に行動すること。受講するマナー・態度として、飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、①授業で使用する教材を準備している②授業に集中し、必要なことはノートにとっている③演習時は仲間の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている④積極的に取り組んでいる。	45			
レポート/作品	10 点満点のレポート課題を 4 つ提出する。S 評価は、①各設問に適切に答えている②学びや気づきなど、自分の考えが具体的に記述されている③提出期限を守っている。社会福祉研究ノートの提出を 15 点とする。		55		
発表					
小テスト					
試験					
その他					
合計		45	55		

回数		授業計画
1	授業内容	進路に向けた活動状況・スケジュールの確認
	事前・事後学習	スケジュールの作成
2	授業内容	社会福祉研究ノート①／個別進路指導(履歴書の添削、面接対策) 【課題①】社会福祉研究ノート執筆のためのマトリクス作成
	事前・事後学習	履歴書の見直しを行う。課題①の実施
3	授業内容	社会福祉研究ノート②／文献検索について【課題② 文献の要約】
	事前・事後学習	課題②の実施
4	授業内容	社会福祉研究ノート③／受験予定先の過去の質問を持参する。模擬解答の作成。
	事前・事後学習	受験先の法人研究、模擬解答の作成
5	授業内容	社会福祉研究ノート④研究計画の立案【課題③ 研究計画書】
	事前・事後学習	課題③の実施
6	授業内容	受験先の面接準備、面談練習／社会福祉研究ノート⑤
	事前・事後学習	受験予定先の書類を揃える／社会福祉研究ノートの作成と修正
7	授業内容	個別進路指導(履歴書の添削、面接対策)
	事前・事後学習	受験予定先の書類準備を事前に行う。
8	授業内容	社会福祉研究ノートの作成⑥中間報告会
	事前・事後学習	発表準備
9	授業内容	社会福祉研究ノートの作成⑦随時添削と指導
	事前・事後学習	社会福祉研究ノートの作成と修正
10	授業内容	社会福祉研究ノートの作成⑧随時添削と指導
	事前・事後学習	社会福祉研究ノートの作成と修正
11	授業内容	社会福祉研究ノートの作成⑨随時添削と指導
	事前・事後学習	社会福祉研究ノートの作成と修正
12	授業内容	社会福祉研究ノートの作成⑩要旨の作成と発表準備
	事前・事後学習	社会福祉研究ノートの作成と修正
13	授業内容	社会福祉研究ノートの作成⑪／発表 [課題④ 社会福祉研究ノートの提出]
	事前・事後学習	社会福祉研究ノートの修正
14	授業内容	ビジネスマナー(名刺の渡し方、お茶の入れ方)
	事前・事後学習	手持ちの名刺入れがあれば準備する。授業後、名刺の受け渡しの復習を行う。
15	授業内容	卒業後のキャリア形成について 2年間のまとめ[課題⑤ ワークシート]
	事前・事後学習	ワークシートの見直し、2年間の学びについて振り返りを行う。

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ（スポーツ）（卒業研究） Career Seminar II			ナンバリング No.	G4-003		
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	板倉 茂樹						
連絡方法	C-Learning で対応。または本館2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	就職し社会人となってから役立つような基礎的知識や態度を身につけ、自己を活かす職業に就くために必要となる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。 ①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかしながら自分の思いを伝えられるようにする。⑤就職し社会人となってから役立つような基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。						
授業の方法	個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは教員や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意し、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現することができるようにする。						
学習成果	L01	(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
	L02						
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	課題に対しては、授業時間内及びオフィスアワーの時間で対応する。						
教科書/参考図書	『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。						
履修上の留意点やルール等	積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題を必ず提出すること。教室への食べ物は持ち込み禁止。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分である。						
担当教員の実務経験	職種：指導主事、校長 中学校野球部監督、高等学校硬式野球部アドバイザー、職歴：通算36年						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。	30			
レポート/作品	7つの課題を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめであり、自身の考えや感想を述べている。	70			
発表					
小テスト					
試験					
その他					
合計		100			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 履修指導 卒業研究テーマ設定
	事前・事後学習	卒業研究テーマにむけた計画を立てる。
2	授業内容	学習支援・進路個人面談① 就職内定者＝資格試験対策問題の実施
	事前・事後学習	資格試験対策問題を解く。
3	授業内容	タイムマネジメントについての説明及びディスカッション【課題1】受講内容の要約を時間内に提出
	事前・事後学習	課題1を行う。
4	授業内容	職場での人間関係についてグループワークを行う【課題2】グループワークで出た意見をまとめ時間内に発表
	事前・事後学習	課題2を行う。
5	授業内容	マネープランについての説明及び自身のプラン作成【課題3】自身のマネープランを作成し、時間内に提出
	事前・事後学習	課題3を行う。
6	授業内容	就職活動中の者：学習支援・進路個別面談② 就職内定者：就職活動について報告書作成 卒業研究中間報告
	事前・事後学習	報告書作成及び卒業研究のまとめを行う。
7	授業内容	学習支援・資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実施①
	事前・事後学習	実技試験の練習を行う。
8	授業内容	学習支援・資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実施②
	事前・事後学習	実技試験の練習を行う。
9	授業内容	資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実施③
	事前・事後学習	学習支援・実技試験の練習を行う。
10	授業内容	冠婚葬祭のマナーについて【課題4】受講内容の要約を時間内に提出
	事前・事後学習	配布プリントを整理する。
11	授業内容	お中元、お歳暮、年賀状などのマナーについて【課題5】受講内容を時間内に提出
	事前・事後学習	課題5を行う。
12	授業内容	学習支援・資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実際④
	事前・事後学習	問題を解く。
13	授業内容	学習支援・資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実際⑤
	事前・事後学習	問題を解く。
14	授業内容	卒業研究発表【課題6】卒業研究の資料を提出
	事前・事後学習	資料のまとめを行う。
15	授業内容	まとめ【課題7】キャリア教育から学んだこと
	事前・事後学習	課題7を行う。

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ (ビジネス・AI) Career Seminar II				ナンバリング No.	C4-030	
年次	2 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	亀田 和則						
連絡方法	C-Learning に対応。研究室は、講義棟 2 階。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1 , DP3 , DP5						
授業の概要と到達目標	提示する4つの学習内容から1つを選択・活動し、他者にあなたの活動内容を説明する。						
授業の方法	①「バーチャル投資ゲーム『株たす』を実行する」、②「AI で曲を作る」、③「AI でイラストを作る」、④「AI で議事録を作成」の中から授業内容を1つ選択し活動する。経過報告をまとめ他者に活動内容を「音声付プレゼンテーション」で説明する。 上記4つの学習内容以外に、学生が考えた学習内容を追加することがある(先生の許可が必要)。						
学習成果	L01						
	L02	C-Learning で経過報告をできるようになる。					
	L03	経過報告をまとめ、他者に活動内容を説明できるようになる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	提出された課題はその場で確認する。						
教科書/参考図書							
履修上の留意点やルール等	演習中の私語や、演習以外の PC の利用は慎むこと。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品					
発表	音声付プレゼンテーション作成が該当する。満点となる条件は授業を通じて発表する。			60	
小テスト					
試験					
その他	経過報告を C-Learning で行う。満点となる条件は授業を通じて発表する。		40		
合 計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果・成績評価を説明)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(1)
2	授業内容	C-Learning で経過報告(1)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(2)
3	授業内容	C-Learning で経過報告(2)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(3)
4	授業内容	C-Learning で経過報告(3)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(4)
5	授業内容	C-Learning で経過報告(4)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(5)
6	授業内容	C-Learning で経過報告(5)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(6)
7	授業内容	C-Learning で経過報告(6)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(7)
8	授業内容	C-Learning で経過報告(7)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(8)
9	授業内容	C-Learning で経過報告(8)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(9)
10	授業内容	C-Learning で経過報告(9)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(10)
11	授業内容	各自、音声付プレゼンテーションを作成する(1)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(11)
12	授業内容	各自、音声付プレゼンテーションを作成する(2)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(12)
13	授業内容	各自、音声付プレゼンテーションを作成する(3)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(13)
14	授業内容	各自、音声付プレゼンテーションを作成する(4)
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(14)
15	授業内容	各自、音声付プレゼンテーションを作成する(5) 各自、音声付プレゼンテーションを提出
	事前・事後学習	①～④の中から1つ選択し自宅で活動する(15)